

会員各位

平成29年度総会報告

深谷市手をつなぐ育成会
会長 梶山 實

新緑の候、会員の皆様にはお元気でお過ごしのこととご推察申し上げます。去る、5月17日に「深谷市手をつなぐ育成会」の定期総会が深谷公民館で開催され、添付「総会資料」に記載されている内容をご承認いただきましたことをご報告いたします。

毎回のことですが、当会の成り立ちを紹介させて下さい。現在は沢山の施設が出来て、若い福祉士や施設職員が多くなり、「手をつなぐ育成会」の名前も知らない人達が多い。私達は障がい者の高齢化への対応を模索している。障がい者を誰に託すか、財産をどう残すか、遺言は、将来は特養に入れるかなど枚挙に暇がない。これからも老人パワーで頑張って道を開いて行きます。

さて、深谷市手をつなぐ育成会はS44/12に設立され、創立47年目を迎えました。小生が深谷市に引越してきたのはS47/7月で、深谷市には障害者の受け入れ施設が無く、妻沼の「草の実学園」まで通園バスで通っていた。当時の小学校には特別支援学級もなく、就学猶予の状況でした。

何とか深谷市に通所施設を作る運動を始めたのがS47/10深谷市心身障害児(者)育成協議会(現在の肢体不自由児父母の会と手をつなぐ育成会の会員)を立ち上げ、要望書を深谷市に提出しました。S49/4深谷市立たんぼぼ育成園が開園し、藤沢小学校より先生が派遣され、学校教育が始まり、S54/4全員学校就学となり、育成園は閉鎖されました。

学校を卒業したが仕事無く、稲荷町の民家を借り、通所作業を始めながら、深谷市立たんぼぼ育成園の空家に開所を市に要請してS57/4「深谷市立たんぼぼ作業所」が30名定員で発足した。その後、段階的に50名まで増員され、後に「埼玉のぞみの園」に運営委託された。H27/4市より「埼玉のぞみの園」に経営委託され、「深谷たんぼぼ」と施設名も変わりました。今年で35周年を迎えました。

深谷市手をつなぐ育成会は現在の「深谷たんぼぼ」と共に歩んで来た。これからが大変な時期になって来ました。それは親も子も高齢化する避けて通れない出来事です。ここ数年で「深谷たんぼぼ」にグループホームから通園する方が多くなりました。時代の流れでしょうね。

4/21深谷市グループホーム発足会があり、出席をしてきました。そこでの報告を見ると、深谷市内に70箇所以上の障害福祉サービス事業所があること、とりわけグループホームは18法人47居住で284人もお住まいをされていることを知り、障害者の地域での生活が浸透しております。

障がい者の生活や働き方が多様化している時、病気・怪我・事故・第三者補償などに被災されることも多く見られます。こんな時「生活サポート保険」に入っていて良かったと言う声を聞きます。保険は本人だけでなく、保護者や施設の「お守り」として、ご利用をPRしています。GH長も未加入の他の施設に働き掛けてください。

今後も「深谷たんぼぼ」を支援しながら、地域で生活できるグループホームへの入所を指導し、親の老後対策、親亡き後の生活や成年後見制度の活用など進めて行きたいと思えます。

また、若い障害児をお持ちの任意団体へ「施設見学など」を通じて交流を深めたいと思えます。皆様からの質問及び相談について、連絡(048-572-2863 梶山)を下さい

追記

< 会費納入のお願い >

平成29年度の年会費2,500円のお支払いについて、(既に納入済の方はご容赦ください)

- ① 施設に入所・通所の方は施設長経由でお支払い下さい。
- ② 会報など「手配り配布」をされてる方は「配布時にお支払い」か
- ③ 下の銀行口座にお振込み下さい。宜しくお願いします。

埼玉りそな銀行 深谷支店 店番 580 口座番号 0769431 口座名 深谷市手をつなぐ育成会 梶山 實
--

以上